

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

映画プロデューサー 佐々木史朗
Shiro Sasaki: A Film Producer

2017年6月27日(火) - 7月16日(日)

6-7月の休館日:
月曜日

大ホール

各回の開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金:一般520円 / 高校・大学生・シニア310円 / 小・中学生100円 / 障害者
(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



n 長瀬映像文化財団

フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。



Shiro Sasaki: A Film Producer

映画プロデューサー

佐々木史朗



2017

6

NFCカレンダー
2017年6月号

大ホール 上映作品

映画プロデューサー
佐々木史朗
Shiro Sasaki: A Film Producer

フィルムセンターでは、映画プロデューサーに焦点を当てる新たな上映企画として「映画プロデューサー 佐々木史朗」を開催します。佐々木史朗(1939年大連生まれ、本名：佐々木正路)は、学生時代に端を発する演劇活動や、テレビ制作のアルバイトを経て、1970年、テレビ番組等を制作する会社・東京ビデオセンターを設立します。そして同社の7周年記念として、劇映画を製作したことをきっかけに映画界に進出し、1979年にATG(日本アートシアター・ギルド)の二代目社長に就任、橋浦方人や大森一樹、長崎俊一、森田芳光ら自主映画出身の作家たち、また井筒和幸や根岸吉太郎といった新進気鋭の監督たちの作品を次々とプロデュースし、話題をさらっていきます。その後1989年には他の5人の独立系プロデューサーと共にアルゴ・プロジェクトに参加し、日本映画の新たな配給興行システムを確立する試みとして注目を集めます。さらに1993年には映画製作・配給会社であるオフィス・シロウズを立ち上げ、2017年の現在に至るまで、シネマコンプレックスの急速な普及や「製作委員会方式」など、大きく変容する1990年代以降の日本映画のあり方に対応しながらも、プロデューサーとしての原点は変わることなく、中江裕司や李相日、沖田修一など、才能ある若い作り手を世に送り出しています。

本特集では、1970年代末から現在まで、40年近くにわたる佐々木のプロデュース作品の中から、18人の監督が撮った18作品を上映します。監督の個性が存分に表れた各作品の面白さを楽しんでいただくと共に、彼らを後押しする佐々木のプロデューサーとしての個性もご堪能ください。また、時代によるテーマや製作体制などの変遷を通して、現代日本映画が歩んできた多様で困難な道のりを改めて発見する機会にもなるでしょう。会期中には、佐々木氏のトークイベントも開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

- ⑤=監督 ⑥=原作・原案 ⑦=脚本・脚色 ⑧=撮影 ⑨=ビデオ撮影 ⑩=美術 ⑪=音楽 ⑫=出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 佐々木史朗のスタッフ表記は本篇クレジットに依っています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。



星空のマリオネット

1 6/27(火)3:00pm 7/7(金)7:00pm

星空のマリオネット(99分・35mm・カラー)

佐々木の第1回プロデュース作で、後にATG社長に就任する契機ともなった作品。監督の橋浦は、東京ビデオセンターでPR映画を作りながら自主製作した『青春散歌・置けない日々』(1975)で注目を集め、本作で劇場映画に進出。茨城・古河を舞台に、あてどなくさまよったような日々の中で仲間も居場所も失っていく若者の生を描き、日本映画監督協会新人賞を受賞。榎戸耕史、平山秀幸らがスタッフに参加。

1978(東京ビデオセンター) 企画佐々木史朗 ⑤橋浦方人 ⑥喜多唯志 ⑦大和屋笠 ⑧奥村祐治 ⑨池谷仙克 ⑩国吉良一 ⑪三浦洋一、亜湖、武井一仁、牟田悌三、馬淵晴子、山口ゆり、絵沢萌子、江角英明、野呂圭介

2 6/27(火)6:45pm 7/8(土)12:30pm

ヒポクラテスたち(126分・35mm・カラー)

ATGの二代目社長に就任した佐々木が最初に製作を構想した映画作家は、橋浦(『海潮音』1980)と大森一樹だった。佐々木と大森は3本の企画を相談し、その中で「一番重苦しい話」が映画化され本作となった。大病院で臨床実習に取り組む7人の学生が、さまざまな形で生と死に向き合い、人生の進路を決めていく。大森自身の医大生体験も踏まえた青春映画。1980年度『キネマ旬報』ベスト・テン第3位。

1980(シネマハウス=ATG) 製作佐々木史朗 ⑤大森一樹 ⑥堀田泰寛 ⑦大谷和正 ⑧千野秀一 ⑨古尾谷雅人、伊藤龍、光田昌弘、狩場勉、柄本明、西塚肇、真喜志ささ子、小倉一郎、阿藤海、内藤剛志、斉藤洋介、鈴木清順、手塚治虫、森本レオ、原田芳雄、渡辺文雄

3 6/28(水)3:00pm 7/8(土)4:00pm

ガキ帝国(116分・35mm・カラー)

万博開催を3年後に控えた1967年の大阪を舞台に、少年院から高校に復学してきたリュウ(阪田)とその仲間(松本、趙)がケンカや遊びに明け暮れる日々を描いた、井筒和幸監督の出世作。生活感あふれる関西弁が醸し出すユーモアと共に、若者たちの生きざまがリアルに写し取られる。井筒が長年温めた構想を、ATGと、当時関西のサブカルチャーの発信源となっていたプレイガイドジャーナル社が共同で映画化。

1981(プレイガイドジャーナル社=ATG) ⑤佐々木史朗 ⑥井筒和幸 ⑦西岡琢也 ⑧牧逸郎 ⑨山本公成 ⑩島田紳助、松本竜介、趙方豪、上岡龍太郎、升毅、夢路いとし、大杉漣、紗あめくみ

4 6/28(水)6:30pm 7/7(金)3:00pm

遠雷(135分・35mm・カラー)

都市化の波が押し寄せる宇都宮を舞台に、農業にこだわる青年の日々を淡々としたリズムで描く根岸吉太郎監督初の一般映画。主人公のみならず、すべての登場人物がリアルな存在として立ち上がってくる魅力は根岸映画ならではの。佐々木は、根岸が日活で助監督をしていた時代から、共に映画を作る構想を練っており、本作でようやく実現した。

1981(につかつ撮影所=ニュー・センチュリー・プロデューサーズ=ATG) ⑤佐々木史朗 ⑥根岸吉太郎 ⑦立松和平 ⑧荒井晴彦 ⑨安藤庄平 ⑩徳田博 ⑪井上堯之 ⑫永島敏行、ジョニー大倉、石田えり、横山リエ、原泉、七尾伶子、蟹江敬三、根岸明美、ケーシー高峰、藤田弓子、森本レオ



ヒポクラテスたち

5 6/29(木)3:00pm 7/9(日)4:00pm

転校生(113分・35mm・カラー)

大林宣彦が出身地である尾道を舞台にして撮った初恋映画。いわゆる「尾道3部作」の最初の作品。中学生の男女が、ある日お互いの体が入れ替わり戸惑うが、少しずつ互いの気持ちを理解していく。当初の製作母体が撤退した後、話を持ちかけられた佐々木が快諾して実現した。冒頭の8mm撮影は大林の当時17歳の娘・千葉真由によるもの。

1982(日本テレビ放送網=ATG) 製作総指揮佐々木史朗 ⑤大林宣彦 ⑥山中恒 ⑦剣持巨 ⑧阪本善尚 ⑨藤谷和夫 ⑩尾美としのり、小林聡美、佐藤允、入江若葉、加藤春哉、中川勝彦、井上浩一、樹木希林、山中康仁、穴戸錠、志穂美悦子

6 6/29(木)7:00pm 7/11(火)3:00pm

TATTOO [刺青]あり

(107分・35mm・カラー)

1979年に大阪で実際に起きた銀行強盗事件を下敷きに、男を上げようとして破滅へと突き進む若者をハードボイルドに描いた青春映画。既にピンク映画で50本以上の作品を撮っていた俊英・高橋伴明が初めて一般映画に挑み、高い評価を受けた。『ガキ帝国』の撮影時に高橋から協力を得た井筒和幸が、プロデューサーを務めている。

1982(国際放映=高橋プロダクション=ATG) 製作佐々木史朗 ⑤高橋伴明 ⑥西岡琢也 ⑦長田勇市 ⑧細石照美 ⑨宇崎竜童 ⑩関根恵子、渡辺美佐子、矢吹二郎、太田あや子、忍海よし子、下元史朗、山路和弘、趙方豪、大杉漣、泉谷しげる、荻島真一、西川のりお、上方よしお、ポール牧

7 7/1(土)12:30pm 7/11(火)7:00pm

家族ゲーム(106分・35mm・カラー)

高校受験を控えた次男を持つ中流核家族が、家庭教師を雇う。風変わりな指導をする彼と一家の奇妙な関わりを通して、現代の家族像が浮きぼりになっていく。食卓風景に見られる幾何学的な構図や明るい色彩など、独創的な演出も話題となり、『キネマ旬報』ベスト・テン第1位ほか数々の映画賞を獲得した。森田芳光の代表作であると同時に、佐々木路線のATGを象徴する作品。

1983(につかつ撮影所=ニュー・センチュリー・プロデューサーズ=ATG) ⑤佐々木史朗 ⑥森田芳光 ⑦本間洋平 ⑧前田米造 ⑨中澤克巳 ⑩松田優作、伊丹十三、由紀さおり、宮川一朗太、辻田順一、松金よね子、岡本かおり、戸川純、白川和子、鶴田忍、清水健太郎、阿木耀子

8 6/30(金)7:00pm 7/9(日)1:00pm

人魚伝説(110分・35mm・カラー)

佐々木がディレクターズ・カンパニーの製作に参加した最初の作品。アワビ漁で暮らす新婚夫婦が原子力発電所建設に関わる陰謀に巻き込まれ、夫(江藤)は殺され、妻(白都)はその罪を着せられてしまう。復讐のために彼女がモリを武器として関係者を襲撃する壮絶なクライマックスは、池田敏春監督ならではのもの。

1984(ディレクターズ・カンパニー=ATG) ⑤佐々木史朗 ⑥池田敏春 ⑦宮谷一彦 ⑧西岡琢也 ⑨前田米造 ⑩小川富美夫 ⑪本多俊之 ⑫白都真理、江藤潤、清水健太郎、神田隆、関弘子、江見俊太郎、榎木兵衛、青木義朗、宮下順子、宮口精二



ガキ帝国

9 6/30(金)3:00pm 7/12(水)7:00pm

空がこんなに青いわけがない

(94分・35mm・カラー)

オフィス・シロウズの名称が使われた最初の作品。また個性派俳優として知られる柄本明の、これまでのところ唯一の監督作でもある。商社社長課長の小林(三浦)は社員(夏川)と不倫関係になるが、幸か不幸か妻(岸本)はマンション建築に夢中で、夫には無頓着。一方、老母(久我)には認知症の兆候がはじめて…。家族の絆の崩壊が淡々と描かれていく。相米慎二が、佐々木と共に製作を務めている。

1993(オフィス・シロウズ=サントリー)製作佐々木史朗◎柄本明◎田村和義◎柳島克己◎部谷京子◎G-クレフ◎三浦友和◎夏川結衣◎岸本加世子◎久我美子◎山崎雄一郎◎久野真平◎不破万作◎岸部一徳◎岩松了◎村上冬樹

10 7/1(土)4:00pm 7/13(木)3:00pm

20世紀ノスタルジア

(93分・35mm・カラー)

若き日より自主映画作家として世界的に活躍してきた原将人が、初めて一般商業映画に挑んだ話題作。高校2年の杏(広末)は同じ高校の徹(圓島)と共にビデオで映画を撮り始めるが、徹は突然海外に転校してしまう。残された杏は、何とかして映画を完成させようとする…。撮影開始時に14歳だった広末涼子のみずみずしい存在感が素晴らしい。

1997(オフィス・シロウズ)企画佐々木史朗◎徹◎原将人◎中島吾郎◎馬場順一◎広末涼子◎圓島努◎余貴美子◎根岸吉太郎◎桑田剛◎丸尾知行◎多田亜沙美◎大島蓉子◎新田聡子

11 7/2(日)1:00pm 7/13(木)7:00pm

ナビィの恋

(91分・35mm・カラー)

沖縄に里帰りの孫娘(西田)を迎えるおばあ・ナビィ(平良とみ)。だが、なんと60年前に大恋愛した末に別れた元恋人(平良進)も、孫娘と同じ船で戻っていた…。数々の琉球民謡や沖縄の美しい風景と共に、沖縄芝居のベテラン女優・平良とみの名前に知らしめ、沖縄に関する映画映像作品の大ブームを起したヒット作。

1999(イエス・ビジョンズ=オフィス・シロウズ)製作佐々木史朗◎中江裕司◎中江素子◎高間賢治◎真喜屋力◎磯田健一郎◎西田尚美◎平良とみ◎村上淳◎平良進◎登川誠仁◎アシュレイ・マックアイザック◎津波信一◎兼嶋麗子◎嘉手苅林昌◎大城美佐子

12 7/2(日)4:00pm 7/12(水)3:00pm

ごめん

(103分・35mm・カラー)

『お引越し』(1993、相米慎二)と同じ原作者による、関西を舞台にした子どもの物語を映画化。長篇デビュー作『非・バランス』(1998)で新人女優の魅力を引き出した注目された富樫森監督の第2作。性に目覚めた小学6年生の男子が中学2年生の女の子に恋をし、アプローチをかける中で自身も変容していく姿が、活き活きととらえられる。

2002(「ごめん」製作事業委員会[読売テレビ=バンダイビジュアル=舞夢プロ=イエス・ビジョンズ=オフィス・シロウズ])製作佐々木史朗◎富樫森◎ひこ◎田中◎山田耕大◎上野彰吾◎三浦伸一◎大友良英◎久野雅弘◎櫻谷由貴花◎佐藤翔一◎栗原卓也◎斎藤歩◎小牧芽美◎森毅◎伊吹友木子◎三田篤子◎河合美智子◎國村隼



遠雷

13 7/4(火)3:00pm 7/14(金)6:30pm

カナリア

(132分・35mm・カラー)

塩田明彦の長篇第6作で、オウム真理教を題材に採ったことで当時話題となった作品。かつてカトリック教団の施設で暮らしていた少年(石田)が、偶然助けた少女(谷村)と共に、妹を取り返すために東京の祖父の家へと旅に出る。寡黙な少年と饒舌な少女との間に奇妙な関係が育まれ、子どもたちは社会と対峙する力を獲得していく。

2005(「カナリア」パートナーズ[オフィス・シロウズ=衛星劇場=バンダイビジュアル])製作佐々木史朗◎塩田明彦◎山崎裕美◎林千奈◎大友良英◎石田法嗣◎谷村美月◎西島秀俊◎りょう◎つくみ◎水橋研二◎戸田昌宏◎渡辺真起子◎井上雪子◎品川徹◎甲田益也子

14 7/4(火)7:00pm 7/15(土)12:30pm

SCRAP HEAVEN スクラップ・ヘブン

(117分・35mm・カラー)

佐々木が李相日と初めて組んだパディ・ムービー。『69 sixty nine』(2004)など、それまで十代の若者を描いてきた李が、自分と同世代の加瀬亮とオダギリジョーを起用し、自分自身や社会の現状を打破しようと暴走する30代前後の男2人を描く。佐々木と李は、本作品の後も『許されざる者』(2013)など3作品で組むことになる。

2005(「スクラップ・ヘブン」パートナーズ[オフィス・シロウズ=テレビ東京=バンダイビジュアル=イエス・ビジョンズ=ザウル])企画佐々木史朗◎李相日◎柴崎幸◎三宅前智治◎倉田茂一◎JETBIKINI◎Masao Nisugi◎加瀬亮◎オダギリジョー◎栗山千明◎光石研◎田中哲司◎森下能幸◎水木薫◎鈴木紗羽◎山田辰夫◎団時朗◎柄本明

15 7/5(水)3:00pm 7/15(土)4:00pm

闇打つ心臓 HEART, BEATING in the DARK

(104分・35mm・カラー)

1982年に製作公開された8mm作品『闇打つ心臓』の続篇であり、入れ子状に自己言及したメタ映画。前作の主演俳優2人が再び登場して前作をリメイクしようとする一方、若い夫婦の物語や前作の8mm映像も同時に進行・提示され、物語は混迷の度合いを深めていく…。『九月の冗談クラブバンド』(1982)『ロマンス』(1996)TV作品『柔らかな頬』(2001)に続き、佐々木が長崎俊一と4たび組んだ作品。

2006(「闇打つ心臓」パートナーズ[オフィス・シロウズ=バンダイビジュアル])製作佐々木史朗◎長崎俊一◎猪本雅三◎種田陽平◎大友良英◎内藤剛志◎室井滋◎本多章一◎江口のりこ◎諏訪太郎◎水島かおり

16 7/6(木)7:00pm 7/14(金)3:00pm

やじきた道中 てれすこ

(108分・35mm・カラー)

『星空のマリオネット』以来の古い付き合いの平山監督との、『笑う蛙』(2002)に続く2回目の作品。勘三郎・柄本・平山が呑み屋で話したことから生まれた快作で、幼馴染の弥次(勘三郎)と喜多(柄本)が品川で花魁(小泉)の足抜けを手伝い、駿河へ向かう珍道中。平山の前作『しゃべれどもしゃべれども』(2007)に続き、『てれすこ』『浮世床』『淀五郎』『狸賽』など多数の落語が盛り込まれている。

2007(「てれすこ」講中[オフィス・シロウズ=バンダイビジュアル=トータル=テレビ朝日サービス])製作佐々木史朗◎平山秀幸◎安倍照雄◎柴崎幸◎中澤克巳◎中山慎◎安川午朗◎中村勘三郎◎柄本明◎小泉今日子◎ラサール石井◎藤赤兒◎波乃久里子◎松重豊◎山本浩司◎吉川晃司◎鈴木蘭々◎淡路恵子◎笑福亭松之助◎南方英二◎間寛平◎藤山直美◎國村隼◎笹野高史



転校生

17 7/5(水)6:45pm 7/16(日)1:00pm

キツツキと雨

(129分・35mm・カラー)

妻に先立たれて2年近くになる木こり(役所)が、地元ゾンビ映画の撮影に来た気弱な25歳の新人監督(小栗)にはからずとも協力するうちに、無職の息子との関係も修復させていく。『南極料理人』(2009)に続き沖田修一監督が撮った喜劇で、役所広司が抜群の存在感を見せる。第24回東京国際映画祭で審査員特別賞を受賞。

2012(「キツツキと雨」製作委員会[角川映画=オフィス・シロウズ=関西テレビ放送=衛星劇場=トライストーン・エンタテインメント=NTT DOCOMO=Yahoo! JAPAN=読売新聞社=パレード])企画佐々木史朗◎沖田修一◎守屋文雄◎月永雄太◎安宅紀史◎omu-tone◎役所広司◎小栗旬◎高良健吾◎白田あさ美◎古館寛治◎森下能幸◎ワタリ◎嶋田久作◎平田満◎伊武雅刀◎山崎努

18 7/6(木)3:00pm 7/16(日)4:00pm

岸辺の旅

(128分・DCP・カラー)

瑞希(深津)は、突然帰ってきて自分は死者だと言う夫・優介(浅野)とともに、失踪中の彼の足取りをたどる旅に出る。監督として指名された黒沢清は、常に死と生の境界域にとどまり、時に夫婦の姿を見つめてきた作家であるから、まさにこの作品にふさわしい。カンヌ国際映画祭「ある視点」部門監督賞受賞。

2015(「岸辺の旅」製作委員会[アミューズ=WOWOW=ショウゲート=ポニーキャニオン=博報堂=オフィス・シロウズ])製作佐々木史朗◎黒沢清◎湯本香樹実◎宇治田隆史◎芦澤明子◎安宅紀史◎大友良英◎江藤直子◎深津絵里◎浅野忠信◎小松政夫◎村岡希美◎奥貫薫◎赤堀雅夫◎千葉哲也◎蒼井優◎首藤康之◎柄本明



TATTOO[刺青]あり



家族ゲーム



人魚伝説

映画プロデューサー 佐々木史朗
Shiro Sasaki: A Film Producer

月	火	水	木	金	土	日
6月	26 1 星空のマリオネット 3:00pm (99分)	27 3 ガキ帝国 3:00pm (116分)	28 5 転校生 3:00pm (113分)	29 9 空がこんなに青いわけがない 3:00pm (94分)	30 7 家族ゲーム 12:30pm (106分) *トークイベント	1 11 ナビィの恋 1:00pm (91分)
	27 2 ヒポクラテスたち 6:45pm (126分)	28 4 遠雷 6:30pm (135分)	29 6 TATTOO [刺青]あり 7:00pm (107分)	30 8 人魚伝説 7:00pm (110分)	1 10 20世紀ノスタルジア 4:00pm (93分)	2 12 ごめん 4:00pm (103分)
7月	3 13 カナリア 3:00pm (132分)	4 15 闇打つ心臓 HEART, BEATING in the DARK 3:00pm (104分)	5 18 岸辺の旅 3:00pm (128分)	6 4 遠雷 3:00pm (135分)	7 2 ヒポクラテスたち 12:30pm (126分) *トークイベント	8 8 人魚伝説 1:00pm (110分)
	4 14 SCRAP HEAVEN スクラップ・ヘブン 7:00pm (117分)	5 17 キッツツキと雨 6:45pm (129分)	6 16 やじきた道中 てれすこ 7:00pm (108分)	7 1 星空のマリオネット 7:00pm (99分)	8 3 ガキ帝国 4:00pm (116分)	9 5 転校生 4:00pm (113分)
10 6 TATTOO [刺青]あり 3:00pm (107分)	11 12 ごめん 3:00pm (103分)	12 10 20世紀ノスタルジア 3:00pm (93分)	13 16 やじきた道中 てれすこ 3:00pm (108分)	14 14 SCRAP HEAVEN スクラップ・ヘブン 12:30pm (117分)	15 17 キッツツキと雨 1:00pm (129分)	16 17 18 岸辺の旅 4:00pm (128分)
10 7 家族ゲーム 7:00pm (106分)	11 9 空がこんなに青いわけがない 7:00pm (94分)	12 11 ナビィの恋 7:00pm (91分)	13 13 カナリア 6:30pm (132分)	14 15 闇打つ心臓 HEART, BEATING in the DARK 4:00pm (104分)	15 18 18 岸辺の旅 4:00pm (128分)	

■ 作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

展示室 (7階)

【企画展】

人形アニメーション作家 持永只仁
Tadahito Mochinaga, Puppet Animation Filmmaker
2017年5月13日(土) - 9月10日(日)

* 月曜日は休室。

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター
協力: 一般社団法人日本動画協会, 日本アニメーション学会, 日本アニメーション協会
特別協力: 北京電影学院

日本に人形アニメーションという新たなジャンルをもたらした持永只仁(1919-1999)。映画制作に使われた愛らしい人形たちや製作資料、さらに写真や作品映像も交えながら、卓越したクリエイターであり優れた教育者でもあったその生涯に迫ります。

* 詳細は当該チラシまたはフィルムセンターのホームページをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる
日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film
From the NFC Non-film Collection
[Captions in Japanese and English]

開室時間=午前11時-午後6時30分(入室は午後6時まで)
料金(企画展・常設展共通)=一般250円(200円) / 大学生・シニア130円(60円) / 高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料
*()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

NFC Digital Gallery
NFC デジタル展示室 Digital Gallery
下記ホームページからお入りください
<http://www.momat.go.jp/nc/digitalgallery>

常設展ギャラリートーク
毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
6月3日, 7月1日

佐々木史朗氏トークイベントのお知らせ

7月1日(土) 12:30pmの回 上映終了後

7月8日(土) 12:30pmの回 上映終了後

* 入場無料

* 当日1回目の上映をご覧になった方は、そのままトークイベントに参加することができます。トークイベントのみの参加もできます。

* 追加情報は随時、ホームページ・館内掲示などで告知致します。

2階受付では、「NFCニューズレター」(季刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



図書室カレンダー

赤字は休室日

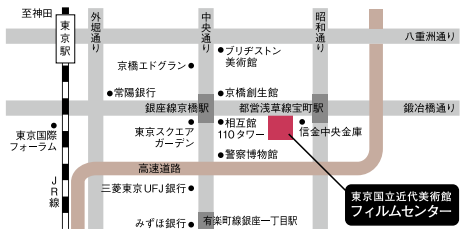
6月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図書室(4階) 開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハロ-ダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>